

# 綾部市公共施設等総合管理計画【概要版】

～将来にわたり持続可能なまちづくりのために～

## 1. 本計画の目的・計画期間

本計画は、市民の皆様と共に、本市が重点的に取り組む他の政策分野との融合を図りながら、長期的な視点に立って、総合的かつ計画的な管理による公共施設の有効活用や最適配置を実現するとともに、財政負担の軽減・平準化を図ることを目的としています。

また、本計画の計画期間は、10年間（平成28年度～平成37年度）とし、集中的に取り組を進めることとします。

みんなで  
考えないと  
いけないね！



## 2. 公共施設を取り巻く環境

### 人口

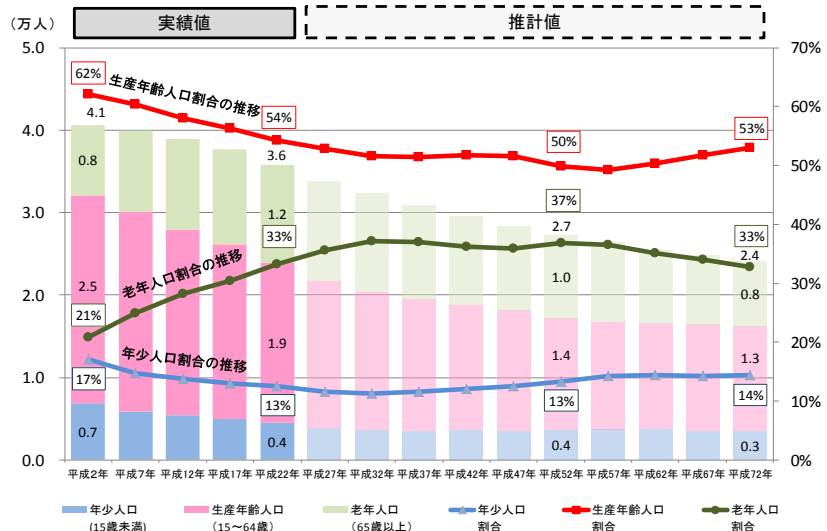
- ・昭和25年～平成22年までの60年間で1.8万人減少しました。
- ・人口減少や人口構成により利用者ニーズの変化が予想されます。

本市の人口は、昭和25年(5.4万人)から平成22年(3.6万人)までの60年間で1.8万人減少しました。

本市では、出生率の向上と転入者の増加により人口減少を抑制しつつ、平成72年に2.4万人とする人口ビジョンを描いています。

人口減少等による財政状況への影響や利用者ニーズの変化も見据えながら、身の丈に合った公共施設のあり方等を検討していく必要があります。

【年齢構成別人口と割合の推移（綾部市推計）】



(注)各人口は、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位まで表記しています。このため、合計が一致しない場合があります。

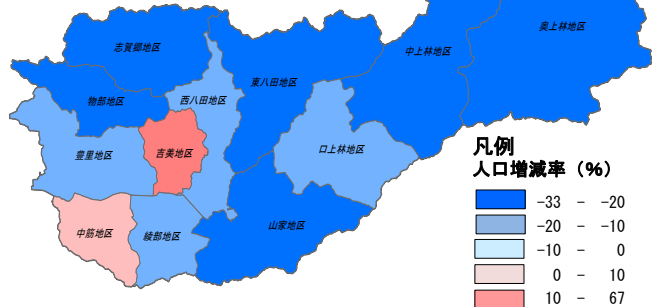
### 地域

- ・4地域12地区における公共施設の配置状況や特性・特色を考慮する必要があります。
- ・周辺部の人口減少が進んでいます。

都市計画マスタープランでは、市内を4地域12地区に区分して地域別構想を策定しています。

公共施設マネジメントの取組においても各地域の特性・特色や地域間の連携・調和を考慮し、地域ごとの課題や実態把握と公共施設の最適配置を検討していく必要があります。

【地域・地区別人口動態（平成7～22年）】



# 財政

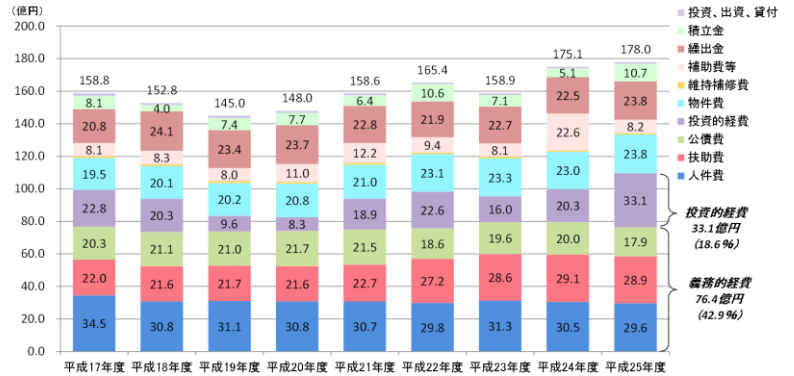
- ・歳入の約5割を占める市税収入、地方交付税等の動向による影響が懸念されます。
- ・扶助費など義務的経費の増加等による歳出の硬直化が予想されます。

歳入は、5割強を占める一般財源のうち、市税収入の大幅な伸びは見込めず、地方交付税も従来どおり確保されるか懸念されます。

一方、歳出は、扶助費などの義務的経費や特別会計繰出金等が増加傾向にあり、財政の硬直化が進んでいます。

また、投資的経費は、ピーク時の平成6年度 75 億円と比較すると、平成25 年度では約4割の水準にとどまっており、今後も投資的経費の確保が困難となることが予想されます。

【歳出の推移（普通会計決算）】



# 公共施設

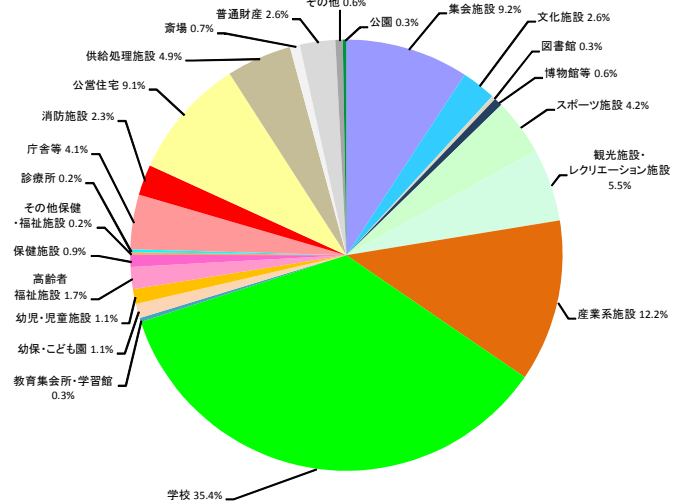
- ・本市の公共建築物の延床面積は、19.5 万㎡で、約6割が築30年以上であり老朽化が顕著です。
- ・公共建築物の将来の更新費用は、40 年間で総額 912 億円（年平均 23 億円）、直近 10 年間の平均 13 億円の 1.7 倍となります。

施設の用途別状況をみると、学校の 6.9 万㎡（全体の 35%）、産業系施設が 2.4 万㎡（全体の 12%）、集会施設と公営住宅がそれぞれ 1.8 万㎡（全体の 9%）ずつを占めています。

また、築年別整備状況をみると、昭和40年代半ばから多くの施設を整備してきており、築30年以上のものが約6割に及びます。

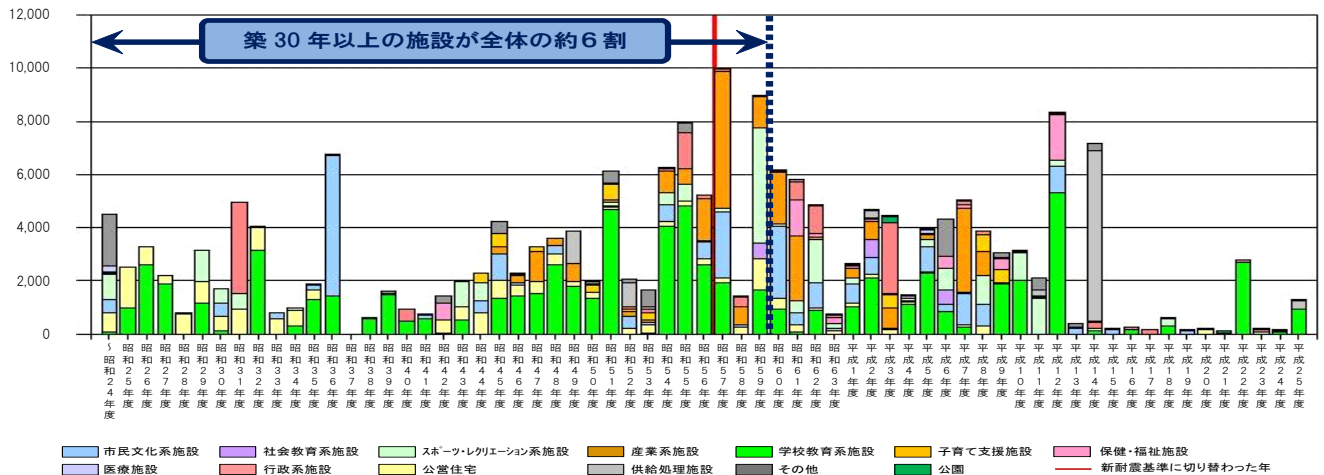
今後、こうした施設の大規模改修、建替等のニーズが高まるものと予想されます。

【公共建築物の中分類別面積割合】



延床面積 (㎡)

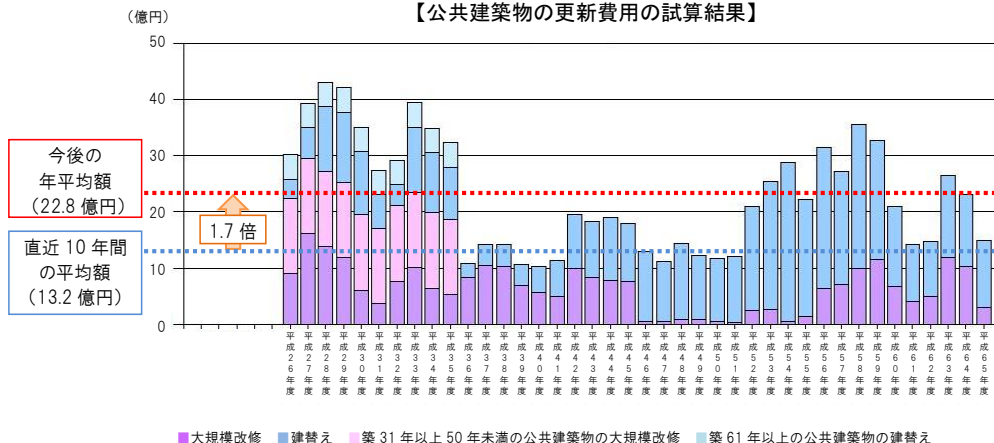
【公共建築物の築年別整備状況】



今後40年間の更新費用を試算すると、公共建築物の場合では総額で912億円（年平均23億円）の負担が見込まれます。

これは、直近10年間の平均13億円の1.7倍に相当します。

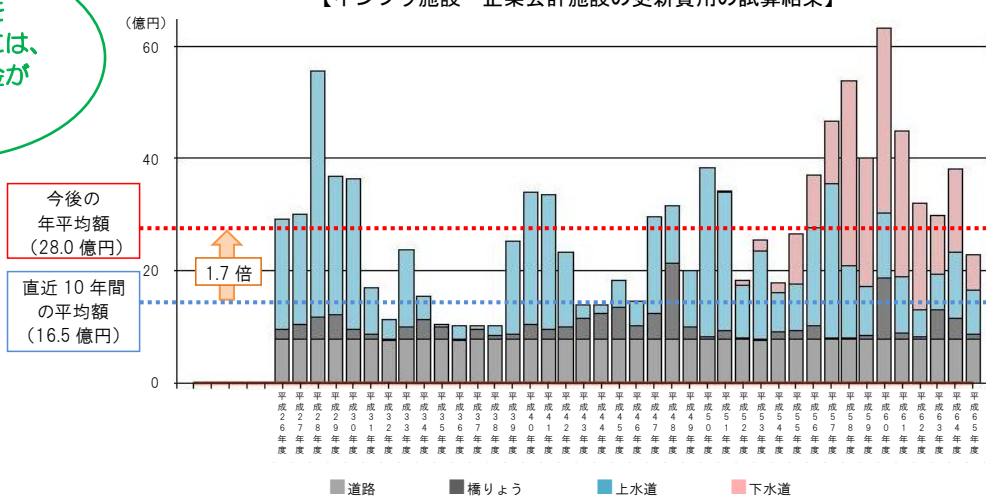
【公共建築物の更新費用の試算結果】



すべての施設を維持していくには、たくさんのお金がかかるんだね！



【インフラ施設・企業会計施設の更新費用の試算結果】



### 3. 公共施設マネジメントの取組方針

#### 方針1

施設保有量・施設配置の最適化

- ・最適な施設保有量の数値目標を設定
- ・統合・機能移転、機能見直し、廃止・解体、移管・譲渡などの最適配置の検討

#### 方針2

計画的保全による長寿命化の推進

- ・「予防保全型」の維持管理による計画的な対応
- ・ライフサイクルコストの縮減と財政負担の平準化

#### 方針3

安全・安心で快適な利用・サービスの確保

- ・危険性が高い施設の安全性確保、災害時等の機能強化・耐震化
- ・維持管理・運営コストの縮減、使用料などの料金体系の見直し
- ・バリアフリー化などの利便性の向上

#### 方針4

地域の特性・特色やまちづくりと連動したマネジメントの推進

- ・目指すまちづくり（将来像）を見据え、社会環境や人口動態などの特性・特色に配慮したマネジメント推進
- ・“地域クラスター戦略”や“小さな拠点づくり”など各種施策や地域の取組とも連動

## 4. 公共施設マネジメントの進め方

### 庁内の推進体制

- ・全庁的な取組体制・管理体制の構築
- ・職員の意識の醸成
- ・PDCAサイクルの構築とフォローアップ

### 市民との情報共有・合意形成、連携・協働

- ・市民との情報共有・合意形成
- ・市民との連携・協働

### 民間との連携

- ・民間活力・民間施設の活用
- ・民間サービスの誘致

### 近隣市町や国・府との連携

- ・公共施設の共同整備・共同運用、機能分担・サービス連携
- ・不要施設や空きスペースの相互利用・有効活用

## 5. 公共施設マネジメントの目指すところ

### 【数値目標】

公共建築物について、施設の長寿命化を図るとともに、総延床面積の約25%を削減することとし、今後10年間で集中的に取り組を実施します。

公共施設に係る将来的な投資的経費の削減に向けて、本市では、公共建築物について、施設の長寿命化を図るとともに、総延床面積を約25%削減することを目標に取り組を進めます。

一方、インフラ施設・企業会計施設については、市民生活を支えるライフラインであることから、原則として施設の削減対象とはせず、適切な維持管理手法の検討や定期的な点検・診断を行うとともに、長寿命化計画等に基づくライフサイクルコストの縮減や計画的な更新等を進めます。

将来的な  
投資的経費  
の削減  
に向けた  
主な取組

長	寿	命	化
移	転	・	統 合
集	約	化	・ 複 合 化
移	管	・	譲 渡
廃	止	・	解 体

将来に向けて、  
今から取り組んで  
いく必要が  
あるんだね！



魅力あるまちづくりに向けて・・・ご理解とご協力をお願いします。



■ホームページのご案内：<http://www.city.ayabe.lg.jp>

■お問い合わせ先：綾部市企画財政部財政課

住んでよかった…

ゆったりやすらぎの

田園都市・綾部

